

Press Release

報道関係者各位（電池、エネルギー、環境問題、証券市場、ベンチャー企業ご担当者様）

2020年3月2日

次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」の開発を行う APB、越前市に第一工場を設立

次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」の開発を行う APB 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：堀江英明、以下 APB）は、全樹脂電池の量産検証の開始のため、福井県越前市において用地及び建物を新たに取得いたしました。

APB では、本工場用地及び建物の取得により、世界初の全樹脂電池の商業化に向け、早期での量産技術の確立を目指してまいります。

【本計画の概要】

名称：APB 福井工場（仮称）

所在地：福井県越前市庄田町

敷地面積：約 23,733 m²

延床面積：約 8,628 m²

事業内容：全樹脂電池の設計、製造

操業開始予定：2021 年

【全樹脂電池の概要】

APB は、三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、社長：安藤孝夫、以下 三洋化成）と APB の現代取締役である堀江英明が共同で開発したバイポーラ積層型のリチウムイオン電池である全樹脂電池（All Polymer Battery）の製造及び販売を行うスタートアップ企業です。全樹脂電池は、界面活性制御技術を有する三洋化成が開発した樹脂を用い、活物質に樹脂被覆を行い、樹脂集電体に塗布をすることで電極を形成しています。このような独自の製造プロセスにより、従来のリチウムイオン電池よりも工程を短縮することで、製造コスト・リードタイムの削減を実現するとともに、これまでにない高い異常時信頼性とエネルギー密度を実現しています。部品点数が少なく済むバイポーラ積層型で、樹脂で構成しているため、電極の厚膜化が容易に行え、セルの大型化が可能で形状自由度が高いことも特長であり、リチウムイオン電池理想の構造ともいえます。

【APB 株式会社 会社概要】

設立：2018 年 10 月

代表者：堀江 英明

事業内容：リチウムイオン電池の研究開発・製造・販売、コンサルタント業務等

所在地：東京都千代田区神田岩本町 4-12 MCC 神田岩本町ビル 6 階

【本件問い合わせ先】

APB 株式会社 広報担当：contact@apb.co.jp